九ヵ村の合併なる

人口十三万・大長岡市

効果的な行政へ

市長　松田　弘俊　挨拶

去る十一月一日を期して、三島郡三寺川、日越の二ヵ村と、古志郡六日市、十日町、山本、黒条、新組、下川西、福戸の七ヵ村が、それぞれ永い歴史をとじて長岡市に合併されました。

その任せ入々にとっては、父祖代々からの郷里である自分の町村、村なりが他の市町村と合併して、その名が永久になくなるということは、局外者が考えるより遙かに重大な問題であります。これを乗り越え円満裡に合併された村当局並びに住民の皆さんの決意と誠意に対しては、深く敬意を表します。

申すまでもなく社会の進展につれて、人としての日常生活の範囲が次第に拡大され、今日では農家であっても自給自足の生活をすることは困難であります。生活、消費、教育、娯楽等社会各方面と密接な関連をもっています。そしてその生活圏は日常生活の要求を満たすことのできる中心に向って延長していく、従って自治体が中心部にその役割を果す政治、経済、文化の中心をもつとき、住民の日常生活全般にたいして効果的な行政を行うことができます。これが合併促進法の重要な目標であり、行政単位と生活共同体の一致がここにあります。

この促進法によって全国に新しい市が続出し、市が地鎮を払げすぎ「市」という名の村」という言葉さえできたほど、過渡期的現象を呈してはいますが、本市の場合は、人情風俗の同じである歴史的な伝統とともに、長岡市を中心として有機的に結びついた強固な生活共同体であり、豊富な農業を基盤とした重要な要素を包含した合併であって、他市と同日の論ではありません。私は今後この恵まれた合併を土台として、市民の福利と、国の要請に応えつつより良い国民経済的見地に立って、今後の都市経営を定し、大長岡市完成に精魂をかたむける決意であります。

この際広い市民の皆さんのご指導と鞭撻を心から念願いたしまして、ご挨拶といたします。

松田市長

総合都市の誕生

市議会議長　山田　実義

わが長岡市は前に宮内町、上川西、深才両村と合併いたしまして、十一月一日をもって更に九ヵ村との合併が成立いたしまして、茲に人口約十三万を算する名実共に中越の重要都市と成った訳であります。これらの町村の大部分は旧長岡市をとり囲む隣接町村でありまして、経済的には殆んど一体をなして来たといってもよいので極めて自然的な結合であるといえるのであります。従って合併に際してはさしたる困難もなく、スムースに進行してまいったことは誠に慶賀に堪えないのであります。

さてこれで一応長岡市の村近町村合併は、一段落を告げたと言ってよい訳であります。これによりまして、従来負担を他に求めました長岡市も、今後は自給自足を遂げ、豊かな市政を一体となって、市民の福祉増進に努めなければなりません。これらの町村の大部分は旧長岡市をとり囲む隣接町村でありまして、経済的には殆んど一体をなして来たといってもよいので極めて自然的な結合であるといえるのであります。従って合併に際してはさしたる困難もなく、スムースに進行してまいったことは誠に慶賀に堪えないのであります。

さてこれで一応長岡市の村近町村合併は、一段落を告げたと言ってよい訳であります。これによりまして、従来負担を他に求めました長岡市も、今後は自給自足を遂げ、豊かな市政を一体となって、市民の福祉増進に努めなければなりません。

発行所　長岡市役所
新潟県長岡市大手通2
（電話　3200）
発行人　松田　弘俊
発行日　毎月10日
定　価　1部5円

人口の動き

（11.1 現在）

世帯	24.437
人口	129.491
男	63.513
女	65.978

十月中の受理件数（但し九ヵ村分を除く）

生	138
亡	54
入	216
出	226
婚	29
離	8

議会の便り

正副議長の改選

十月二十二日の市議会臨時会において正副議長の改選が行われ、議長に山田実義氏、副議長に猪俣藤作氏がそれぞれ当選いたしました。

常任委顔ぶれ

去る九月二十七日の市議会定例会において議会常任委員会の委員の顔ぶれがつぎのようにあらたまりました。

（注、各委員会の委員の定数は十名、◎印は委員長、○印は副委員長、◎○印のないところは未定）

※議会運営委員会　◎田村仁之助　○長谷川繁雄　井上憲司　関勇次　吉田政治　渡辺国太郎　小林藤吉　中村新治　鈴木真一郎　※総務委員会　猪俣藤作　長谷川繁雄　井上憲司　徳田雷次　中村喜一　内山由蔵　鈴木真一郎　※産業委員会　柳沢石蔵　大塚弥三次　中山千代作　長谷川繁雄　多田耕一　酒井喜一　田村仁之助　※商工委員会　◎高橋条次　○吉田政治　※厚生委員会　◎野村誠一　関勇次　今井与三郎　中山千代作　高橋宏三　内山由蔵　※農林委員会　◎野村誠一　○新保昇次　渡辺猛夫　猪俣藤作　藤井国三一　川島豊松　高橋浅市　渡辺国太郎　鈴木真一郎　馬場肆一　※文教委員会　◎佐藤正巳　関勇次　諸橋敏夫　藤井国三一　吉田政治　井上憲司　高橋浅市　新保昇次　田村仁之助　中村新治　※厚生委員会　◎川島豊松　渡辺猛夫　諸橋敏夫　佐藤正巳　長部新一郎　多田耕一　小林藤吉　徳田雷次　滝沢義一　矢尾板一男　※工務委員会　◎柳沢石蔵　○渡辺国太郎　大塚弥三次　今井与三郎　高橋条次　高橋宏三　小林藤吉　滝沢義一　矢尾板一男　馬場肆一。

日毎に貯蓄　期毎に納税

消防署宮内分遣所着工

懸案の消防署宮内分遣所は総工費一四五万円で吉原建設の手によって十月上旬着工され、十二月中旬完工の予定であります。

上川西地区の巻

支所紹介

秋の佳き日長生橋の上に立って北方を眺めて下さい。川幅一千六百尺、蔦狭の間ゆく中洲を三条の河身が光って遠く下方の國王橋下で合流、更に蛇行たる流れを弥彦の霊峰が遮っています。この荒涼とした野趣の左岸二橋を繋ぐ一里の間、東岸に向って門戸を開き、雁行して見える一連の存在が上川西区であります。南端の小沢、三郷屋、宮正寺、寺島、蓮潟、上野島、榎田、榎下の丸ヶ町が宮関、下柳、薬野、茸沢、渡り場の五ヶ町を抱いている姿であります。

長岡、三古養老院

近代施設の粋を集めて寺泊に建設

長岡・三古組合立養老院は、三島郡寺泊町の松林の丘の上、風景絶佳の所にでき上りました。この養老院は長岡、栃尾の二市と三島、古志二郡の組合立であって、工事費九百七十余万円をかけて、去る七月二十五日に着工し、十月三十一日に完成致しました。

建物は近代の粋を集めたものであって、すべて平屋造りで、保健上衛生上細かい点に注意を払っているので、養老を楽しむ安住の場所としては実に申し分のない所であります。敷地は三三〇坪、建坪は二二一坪であって、管理棟と収容棟の二つを広い廊下でつないでいます。管理棟には事務室、院長室（会議室兼用）医務室、調理室の外炊事場、浴場、ステージ付大ホールがあり、床下には広々とした倉庫もあります。浴場は一回に十人位が入られ、お湯に入りながら青海を隔てて遥か佐渡ガ島を眺められ、ホールは五〇畳敷でステージまで設けてありますので大変立派なものです。また収容棟は三間半の二間を十二室に分けて居り、定員五十人を楽に入れることができます。居室は八畳敷で、外に押入が二間あり、裏の庭に面した縁側戸を開ければ、自由に広い庭の散歩ができます。室はすべて日当りがよく、また風もよく入りますし、夜の照明は近代的な蛍光灯の光となっているので大変気持ちのよい室であります。

不幸な身の上で困っていられるお年よりの方は、誰でも人所ができますからご遠慮なく相談にお出で下さい。（厚生課）

戸数五四〇戸、農家四四三、商家一六、其他九二、人口男一七七一名、女一八〇三名です。財産は田四七二町、畑一七八町、宅地一四四、八〇〇坪、雑地四六町であります。これに生産する米は、古正寺と渡り場の二倉庫に集荷し、長岡駅に集散されます。畑物は市街人士に直接供給し、現在益々生産高を上げています。市街の新鮮野菜の給源地として愈々技術に改良を加え、高等清浄栽培に進化しつつあります。

元信濃川の造成した土地を開拓した関係上輝かしい歴史も美しい伝統もありません。口碑に蓮潟町八幡社の六礎が七回も川の東西になったと聞きます。

渋海信濃の両川貫流せる為め池沼多く、鬼蓮咲き声蛙繁茂し、蛇蝎の地として在ったのを南北朝のころ、信濃の移民および大島氏の遺臣の手により開発し、当時は中島前より小沢島にわたったものが元和以来の水害に現在に至ったと伝えられます。また長岡開府以来、弥彦より移住した人もあると言われます。元大島氏の領五十嵐氏、堀氏と移り、牧野家移封の砌より長岡領と変りました。

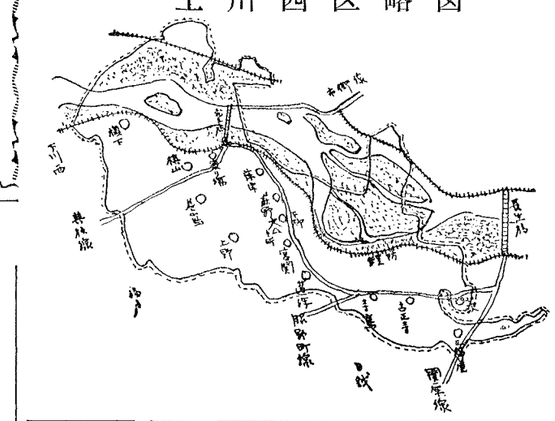
以前、川西と四郷の二村が明治三十九年合併して上川西と呼称、各区に学校がありました。昭和十五年地区中央の下柳町に村設町校舎を移築し一校としました。同二十二年中学を同所に移築、翌二十三年現支所も同所に建築したのであります。同二十六年中学体操場を建築、これで一応村のすがたも出来ました。

ここに一寸申し上げ度いのは二村合併当時三、六〇〇の人口が、以後四十年間に六〇〇人も減った事です。みんな長岡に移住するのです。戦災の年八月に八〇〇人当地に転住しましたが十二月までに三〇〇人転出しました。その為め一年で五〇〇名増加し、以来九年間に約一〇〇名増加しています。長岡の人口増加が余波を見せた訳と考えます。

昨年七月長岡市より合併の発議をうけ、今年二月一日四十九年の村の歴史を閉じて、招かれた客としてお仲間入りをさせて戴きました。市には大変なご迷惑をお掛けしたことを此の機会に襟を正して市民の皆様に厚く御礼申上げます。

この上は旧村時代に市長から会長に成って戴きました区画整理成の事業を是非着工して戴き、浮び上る四十万坪の土地を、貧しい吾等の報恩のしるしとして充分ご利用下さることを願って止みません。

上川西区略図



学校めぐり

川崎小学校

教育目標
きまりを守り礼儀の正しい子供
よく親よく考えよく働く子供

新市域の皆さんへ

九ヵ村の皆様新しく長岡市民となられておめでとうございます。

市民の皆さんに、身近な市政をよく知っていただくため、この「市政だより」を毎月一回発行して市民の全世帯に無料でお届けしています。

今月号から、新しく市民となられた皆さん方のご家庭にも一部ずつお配りします。もし配布もれになりましたら関係支所へご遠慮なくお申し出て下さい。

投書欄

先日旧知の方に用があって、久し振りで町へ出かけました。自分のおろかさをさらけ出すようであるけれども、焼けた長岡は新しい道があちこちに出来て、昔の道は大分変って町名の区別がよくわからないで、友人を悩ねるのに大変手間どりました。こんなことから旅の人はなおさら迷惑するんではないかと思うにつけて、町名をはっきり書いた標識を辻々につけることは出来ないものでしょうか、何とかお考え願います。

（柳吉地区　一老人）

答　ご承知のように長岡市は、戦災復興特別都市計画が実施中でありまして、道路は相当変更し、町によっては二つにも三つにも分断された所があり、当分の間不便があることと存じます。この町名と町界を合理的に、しかも解り易く作り替えようというので「長岡市町名町界改正専門委員会」がただ今審議中であります。この委員会は来年の三月末までには、答申案を作ることになっていますのでそれが出来れば町名町界が決定されるのであります。そうなれば、あなたのご指摘に沿うように、要所要所に案内標識をたてたいと思っています。もうしばらくのご辛抱を願います。

（土木課）

編集後記

◎九ヵ村の合併がめでたく済み上り、次長岡市の建設が、着々進みますことを心からお喜び申し上げます。

◎第二号として市民の皆様へお届けする本号は、九ヵ村合併と教育委員会設立二周年の記念号として六頁建に増しまして、

◎一部五円としてありますが、市民の皆さんからいただくのではありません。

◎試版号以来市民の方々からのご意見をお待ちしていましたところ、この度補吉地区の方から貴重なご質問をおよせ下さったことを感謝致します。地域も広くなり、市民も多くなったことですから、市政に関する建設的なご意見やご質問をお待ちしています。遠慮なく市役所広報係までおよせ下さいお申し出下さい。

九ヵ村長の挨拶

理想とする共存共栄

旧六日市村長　黒川　憲

昨年の九月一日町村合併促進法が公布され、長岡市では近村十四ヵ村を合併したい意図を表明され、小千谷市もまた当六日市村と合併したい意図でありました。地形の関係上横浦学校区は小千谷市に、六日市学校区、山谷沢学校区は長岡市に十一月一日分村合併することになりました。長岡市において は市の中心地帯の多少の犠牲を払つても、周辺町村の政治、経済、文化を向上させ、其の繁栄はまた中心地の繁栄に寄与すると云う共存共栄の理想のもとに温い手を差し延べられたので、当村としては喜んで本合併を迎えた次第であります。合併後は益々善良な市民として、長岡市の繁栄に貢献したいと念じています。

地域社会の福祉の推進に

旧十日町村長　瀬水　淳英

時代の流れに依つて、ここに長岡市との合併が実現したのであるが、この大規模合併は、各種の批判が含まれていることも考えられるけれども、すでに世界の姿が大きく変りつつある今日、明治二十三年の市町村という、国の中央集権過程に於ける自治体とはおよそ隔絶が違うのである。広地域自治体として、大長岡市こそ新しい方向を打出し、それを推進していくべき立場に立つものと信ずる。特に交通網の発達と、教育、民生、地域社会の福祉の問題を具体的に推進してゆくことこそ、九ヵ村の同時合併を企し遂げた吾々人民に課せられた大きな使命であり、子孫に遺す責務でもあることを痛感する次第である。

小我をすてて大同につく

旧山本村長　佐藤門三郎

明治の初期に本村の石油探掘事業を興したのは長岡の方々であります。本村の石油は、長岡市が商工業として発展した大きな原動力とも言えるのではないでしょうか。同じ長岡藩の所領としてのみならず、濃い昔からこのように密接不可分の関係にあつたのであります今般合併に際しても、全村民欣然、挙手をもつての賛成であります。何卒小我を捨てて大同に生き、共存共栄の実を挙げ、合併したら滞納が出て来た（本村は滞納はほとんどありません）などという事のないよう御協力下さるよう村民にも御願い致しました。

大長岡市発展に協力せん

旧黒條村長　大関又次郎

昨年村合併促進法の公布により全国的に合併が実現しておる現在当村も長岡市周辺の九ヵ村と共に大長岡市建設に協力したもので、六十五年の歴史をとじるのは誠に感慨の情に耐えがたく、感慨無量のものがあります。

この際強力な公共団体を作り住民の福祉をはからねばならぬ段階なので、十一月一日から長岡市と合併し、中越の大都市として発足するに至つたことは、その前途に光明を見いだすのであります。今後は十三万市民と共に大長岡市発展のため努力したいと考えている次第であります。

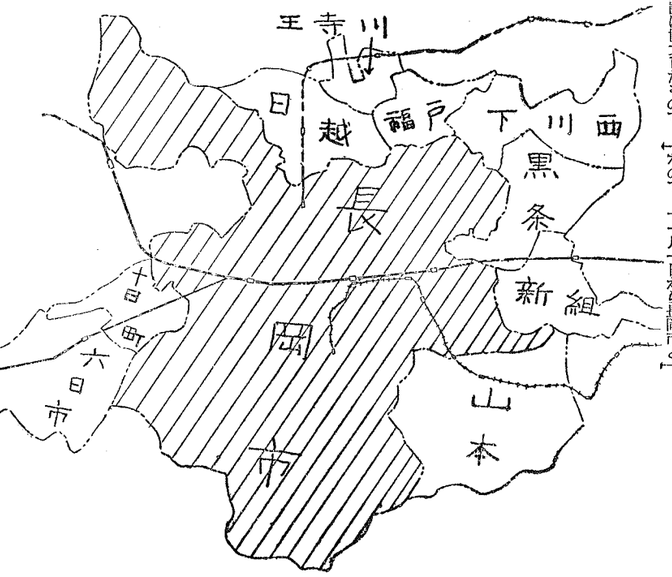
人の和の尊さを痛感する

旧新組村長　清水　繁治

明治二十二年以来六十余年間培われて来た本村も、いよいよ長岡市と合併することになつたが、十一代目の最後の村長として、一入感慨無量なものがあります。町村合併促進法が制定されて僅か一年しかも市村合併の話半ばにしてスムースに実現をみたことは二回感にたえません。この間多少の曲節はありましたが、村議会を始め各種団体や全村民の絶大なご協力の賜であることを深く感謝するものであつて、人の和が如何に尊いかをしみじみ感ずるのであります。今後は父祖伝来の新組魂を発揮し、大長岡市発展に三千の村民は手をとり合つて邁進する決意を新たにするものであります。

発展した長岡市地図

面積　201、56平方メートル



環状道路の実現をはやく

旧下川西村長　山田　秀次

此の度九ヵ村が一斉に長岡市へ合併致しましたが、合併について特に感じた事は、大勢より見た瞬間の長初に一致した考え方が極めて最良のものようであり、即決は寧ろ住民の幸のようであります。

蔵王橋の永久橋化は地方民の最も喜ぶ所であり防火用水路に環状路線もご計画のように承つて居ります。出雲崎から直線国道九号線に通ずる仮称大津押切線を一日も早く実現下さるよう念願して止みません。なお教育の面に於てもよい施設と教員の充実を期待して居ります。黒川大排水溝を利用して、本地区全耕地の乾田化も御願い致します。

農民魂は発展の基因

旧福戸村長　田所彌久次

時代文化の趨勢として当然辿るべき市村合併とは云いながら、斯くも急速に周辺九ヵ村の合併が成立した事は、地方住民各位の知的理解性に立つことは勿論であります、これが実現の陰にはまことに筆舌に尽し得ない尊い犠牲のあつたことを痛感いたします。ここに各方面から寄せられたご厚駕なるご指導と熱誠なるご協力を衷心から感謝いたします。私どもが長年にわたり培われた農業の金脈的知識と技術並びに素朴にして円満なる農民魂は、将来の長岡市の健全な幸福を招来する基因となるものと信じます。

文化と生産の交流の適正化

旧王寺川村長　萩野　泰介

日に日に新たにして日に日にまた新たに進み行く時代には、わが農村は一日の怠安も許さないのであります。戦後地方公共団体の責任過重は弱少な町村の財政経済等が到底立行くことが困難となり、政府の町村合併法の施行を見た次第であります。今後は強力な大長岡市の自治に従い都市の文化と芸術、農村の生産する乳と肉に、また蔬菜にと、交流を適正化し住民の福祉を増進し、生活を向上しよりよき国家の建設に寄与することは我等の幸甚とするものであります。

充実された行政に期待

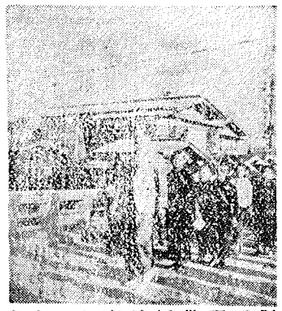
旧日越村長　木村　忠懐

都会と農村とのゆうこうの第一歩は、都会の勤労大衆と農民との結び合いからはじめられる。それは指向する意欲と、生活の基盤において「勤労大衆の生活が豊かにならなければ農村もまた豊かにならないといえるからである。長岡市に編入するわれわれの期待は大きい。それは充実される行政に対する望みである。

文化水準の引き上げや健康の維持増進、また強本主義経済組織の維持においては社会保障制度の発展、どれ一つとして行政に依存しないものはない。

実結ぶ学童の陳情

"みゆき橋"めでたく竣工



表町小学校前の新西川橋は、老朽に加え車馬の交通が困難になつていたうえに、戦災にあい益々こわれ逆に人の歩行もできない程になつたのであるが、市の財政上改修も出来ず関係者は心配していたのであります。

この橋は表町小学校前にある関係上、朝夕学校の生徒児童の通学上大変な橋であるので、表町校の子供達が先頭になつて市長に陳情し、PTAも動かされて力を合わせ、その改築をせまつたのであります。市としてはどうしてもその財源がなく、困りはてて復興建設部へお願いして、可憐な子供の熱望を伝え、遂に約二六〇万円を かけて十月初め、めでたく立派な橋が竣工したのであります。

またこの橋は、今上陛下が当市へご巡幸の際お渡りになられたことから、表町校の子供達の考案で「みゆき橋」と名前をきめることになりました。子供達の喜びは格別で、新しく出来た橋で毎日元気よく学校へ通っています。

一万円の繰越

長岡祭の決算承認

長岡祭協賛会では、昭和二十九年長岡祭の決算報告会を、十月二十八日長岡公民館で開催し、次の決算を承認しました。

△収入の部

一、市補助金　八五〇、〇〇〇円
二、寄付金　二、八七七、八八八円
三、前年度繰越金　三、〇〇〇円
合計　三、七六四、八八八円

△支出の部

一、会議費　二三〇、七六一円
二、慰霊祭費　一〇五、三八〇円
三、御神輿渡御費　九九、五六五円
四、大煙火費　二、一九三、七三六円
五、仁和賀費　三四六、三〇六円
六、諸行事費　二一一、七三五円
七、事務局費　五七七、六六八円
合計　三、七五四、一五一円
収支差引額　一〇、七三七円
（次年度へ繰越し）

全商工業者の團体

新発足の商工会議所

終戦後経営不振のため思うように活躍できなかつた商工会議所はいよいよ新しい商工会議所法（昭和二八年法律第一四三号）にもとずく定款の改正を行つて新発足しました。それによると、会員の加入脱退は自由であるが、法律の指定した特定商工業者は会員外であつても負担金を納入する義務が生じます。また特定商工業者は会員外でも会員中から議員を選挙することができるなど、商工業者の団体として資金的にも、事業面でも独立して他の補助金に依存しない強力な団体としての発足であります。

原因調査にご協力

消防車出動で罰金は嘘

最近度々次のような質問や問い合せがありますのでこの紙面を借りて消防署よりお答え致します。

問＝火事を出すと火元の手入は勿論家族の人達まで、また火事の終らないうちに、又は見舞客の応待や後片づけで忙しい最中に警察と消防署に取調べられるようですが、第三者から見ると大変お気の毒ですがどうにかならないものですか。

答＝警察が火災原因を調べるのは失火か放火の犯罪であるかないかを捜査するのであり、消防署は火災の起きた原因と火災に困って生じた損害を調べて、二度と再び同じ原因で火事を起さないよう今後の予防対策を講ずる為に行うものであります。なお原因と損害についてその都度詳細に国家消防本部に報告する義務があるのであります。実際火元の事情は非常にお気の毒でありますが、調査の時機を失うと、大切な証拠がなくなつて目的が達せられなくなりますので、原因がよく判らなくなつてしまいます。

これ等の点を十分お察しの上ご協力をお願い致します。

問＝火事を出し、消防自動車が来ると罰金をとられるという噂をよく聞きますが事実ですか。

答＝火事を出して罰金をとられるということは、消防自動車の出動とは関係ありません。放火は別ですが、過つて火を失した場合でもいわゆる火災に至らないでボヤですんだときは、罰金をとられないで済むのであるから、不審にして火事を出した場合、または発見したときは黙を過せず消防署へお知らせ願います。

臨時農業基本調査

五年目ごとに行われる農業センサス（農業の国勢調査）に準じて臨時農業基本調査が行われます。

この調査は農家の生産構造をつかみ、農業政策のもとになる資料を得ることが目的であるが、これまでの調査のように、個人個人の調査のほかに、農家の共同的関係も合わせて調査し、農業構造を総合的につかむことになっています。

このために、九月一日現在で準備調査をして農業集落をきめて、調査の区域をつくり照査票（準備調査票）によって耕地面積、生産物の売上げ高、家畜の頭羽数、農機具の台数、サイロ基数（家畜用の漬物を作るコンクリートの溜の数）共同施設などをしらべるのであります。

この調査は、農家調査と集落調査に分けて行われるが、調査の項目は、昭和二十五年の農業センサスに若干追加されるが大体同じ程度であります。なお、この調査は来年の二月一日現在の予定であります。

一盲人のパン食い競走

新潟で珍らしい運動会開かれる

全国でも珍らしい身体障害者の運動会が、去る十月十七日新潟市の県立盲学校のグラウンドで開催されました。一五〇名以上の参加者があり、両足切断で義肢をつけた方の、自転車おそ乗り競走、五〇尺競走や、全盲者のワイヤーレース、パン食い競走等それはそれは珍しい運動会が、なごやかに行われました。

長岡市からも多数の参加者があり、宮内町、青木正次君が五〇尺とスプーンレース（下肢切断不自由）で一等、愛宕町、菅原条次君がパン食競走で一等に入賞しその他二等三等が沢山ありました。また悠久町、広井雄蔵、稲吉町、重高与久次君は誕福賞をもらいました。

是非鑑札を

狂犬病予防

犬を飼うことが是非義務として施行して、現在は一、〇一七頭が届出してありますが、まだ未鑑札の犬が沢山居るように思われます。犬を飼う場合は、狂犬病予防法によつて、必ず鑑札（登録）を受けなければなりません。この鑑札は常に犬の頸輪につけておき、また越しい狂犬病から守るため、予防注射を秋に二回受けることに決っています。

鑑札料は年額二五〇円で、毎年四月に更新するのですが、新しく飼育される方もありますので、随時受付ています。かわいい犬のためまた狂犬病予防のため、是非届出て下さい。

米屋の登録替

十一月十八、十九日に御希望の方はお忘れなく。

旧市内及び山潟地区の方は市役所商工課へ、支所管内の受配者は、関係支所へ、お米の通帳と印をご持参下さい。

清い一票明るい祖国

教育委員会発足一周年を迎えて

長岡市教育委員会代表　五十嵐吉太郎

発足ここに満二年。爾来法規に学び、世論にはげまされようやく今日におよんだのであるが、そぞろ当時をしのんで感慨また深きものがある。

今般市村合併により、当市がまさに歴史的な飛躍発展を遂げたことは、慶祝にたえない次第である

これにより小中学校数は五四校を数え、しかも市街地あり、農村あり、その生態、風習、文化、趣情おのずから特異性のあることを思うとき、教育行政においても、従来の規に学び、世論にはげまされようやく今日におよんだのであるが、そぞろ当時をしのんで感慨また深きものがある。

今般市村合併により、当市がまさに歴史的な飛躍発展を遂げたことは、慶祝にたえない次第である

これにより小中学校数は五四校を数え、しかも市街地あり、農村あり、その生態、風習、文化、趣情おのずから特異性のあることを思うとき、教育行政においても、従来の困難が予想されるのである。

教育委員会の構成においては、旧来の市教育委員がそのまま存続し、合併村のものは全部解消するものであって旧各村に一名の連絡員をおき地域の実情をつまびらかにし必要を明らかにして、万遺憾無きを期するものである。

山けわしくとも直無きに非ず専心努力、意新を新たにし牛の歩みはよしおそくとも着実に歩を進ばんの所存である

こどもの教育費は

父兄負担教育費調査から

公立学校の教育費については、国及び地方公共団体が巨額の経費を負担していることはいうまでもありませんが、このような公費のほかに、公立学校に通う子弟を持つ父兄は相当額の教育費を支出しているのが実情であります。然しそれは、ただ「習慣」がかかって困る」という父兄の一般的な声にとどまって、一体それは具体的にどれくらいかかるのかという要望にもかかわらず、調査が困難のため信頼するにたる資料はほとんどなかったのであります。昭和二十七年から長岡市教育委員会では一ヵ年にわたり、父部省および各方面の専門家の協力を得て実施してみたのであります。

つぎにその結果をグラフでお知らせいたします。

○　特別出費（教科書費、修学旅行積立費、遠隔地学校会費）をのぞいた各月別の児童・生徒一人あたりの平均額が示されてあります。

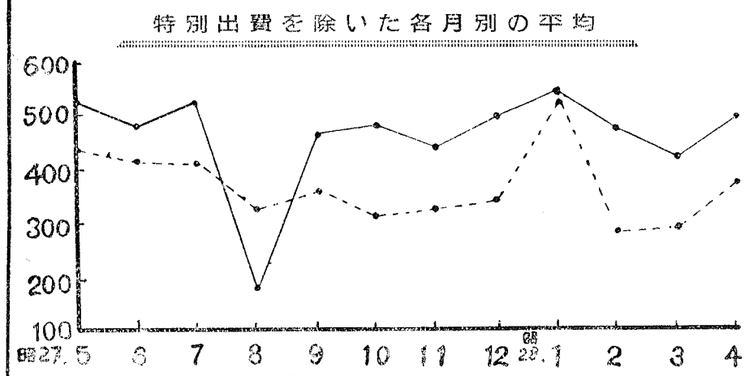
○　小中学校とその父兄の傾向はよく類似しております。

八月と二月を除いてはいちじるしい変動もみられず、また全体を通じてさん増の様子もみられませんでした。小学校で八月の変動はいちじるしく、スキーシーズンでもあり用具等をととのえるために多くの費用が使われています。

全般的に小学校の経費が多い原因は給食費のためであって、これを除くと小学校より、中学校の教育費が多いという結果になります。

学力は低下しているか

最近の学力の「学力は低下したのではないか」との父兄の声を聞くが、このことについてまず考えていただかねばならないことは、旧観念と新観念では学力に対する考え方と内容が変化してきていることである。一口にいえば学力とは旧観念ではおもに知識技能をいい、新観念では知識技能に加えるに具体的問題解決能力が大きくクローズアップされ、現実の生活に適応する力を中心に考えねばならないこととなった。すなわち学力に対する中と深さが異なって来たたとえば小学校で学習する漢字に例をとると、昔の小学校の教科書には一五〇〇字程度の漢字が出ているが、新しい小学校の教科書では八八一字しか出ておりません。だから漢字の知識だけをいえば今の学童は昔の学童より少しし知らない、教えてもらわないのである。しかし如何に考えて（半順万然等）提出された文章を読みとる力ということになると、今の学童は昔の学童よりその感じ方意味のとり方など、おぼえたものでなく自分の心の叫びとしての力をつける訓練をうけている。学力の内容が変化して、たての関係としての昔と今の学童の学力の比較は困難の点が多いことを充分考えていただきたいそれで新しい学力の内容（知識技能及び態度）を横の関係として現在の長岡市の学童について県平均或は全国平均と比較して見ようから。各所で発行されている標準学力テスト問題用紙を使って実施した長岡市の小中学校村部、町部あわせて四ケ校の成績をかかげる。このテストの結果によると長岡の学童の成績は県や全国の成績とくらべてむしろ優位になっている。

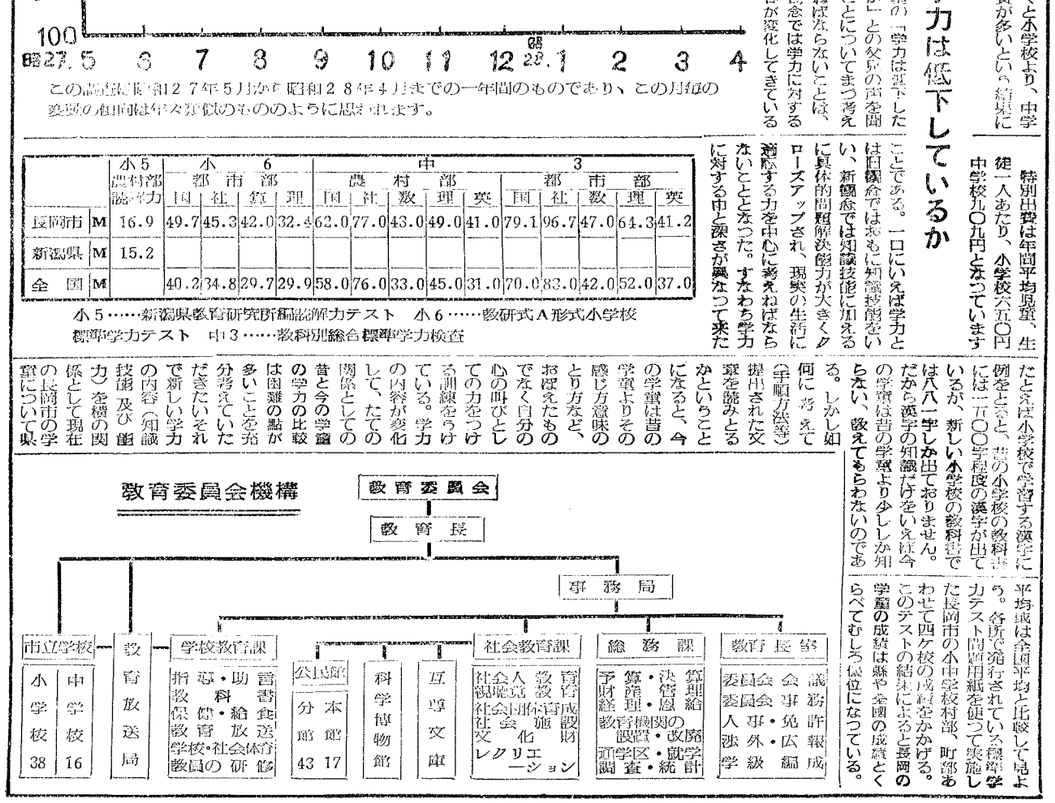


この調査は昭27年5月から昭和28年4月までの一年間のものであり、この月毎の変動の傾向は年々類似のもののように思われます。

		小5 農村部 読・算力	小6 都市部 国	小6 都市部 社	小6 都市部 算	小6 都市部 理	中3 農村部 国	中3 農村部 社	中3 農村部 数	中3 農村部 理	中3 農村部 英	中3 都市部 国	中3 都市部 社	中3 都市部 数	中3 都市部 理	中3 都市部 英
長岡市	M	16.9	49.7	45.3	42.0	32.4	62.0	77.0	43.0	49.0	41.0	79.1	96.7	47.0	64.3	41.2
新潟県	M	15.2														
全国	M		40.2	34.8	29.7	29.9	58.0	76.0	33.0	45.0	31.0	70.0	83.0	42.0	52.0	37.0

小5……新潟県教育研究所編総合学力テスト　小6……教研式A形式小学校標準学力テスト　中3……教科別総合標準学力検査

教育委員会機構



軌道に乗る社会教育

教育は学校のものと云うあやまった考え方からともすれば忘れがちの社会教育が、終戦後、日を追ってめざましい発展をとげ、昭和二十四年社会教育法を始め引き続き図書館法、博物館法と単独に法律が制定され、法的整備とともに一大飛躍がなされています。

◇本市の社会教育は次の組織図のように行われています。

◇社会教育の振興に活躍する社会教育委員会

社会教育委員は定員二五名（学校の長、関係団体の代表、学識経験者）であって、昨年以来「本市の社会教育的環境の整備をいかにするか」の課題をとりあげ成人部、婦人部、青少年部の三専門部門をもうけ調査研究をつづけています。

◇施設を通じての社会教育

社会教育の発展を期するためには、管設的な教育の場である公民館、図書館、博物館等にまつところがきわめて大きいのであります。

現在長岡市内には次の施設が活動しています。

（一）公民館

本館　一七（合併九ヵ村地域を含む）

分館　四三（〃　〃）

（二）図書館

長岡市立図書文庫

（三）博物館

1 長岡市立科学博物館

2 長岡積雪科学館（法人立）

3 如是蔵物館（法人立）

◇組織活動を通じての社会教育（十月末日現在）

（一）学校開放

市内一三の小学校に社会学級、中学校および四小学校にそれぞれ開設しています。

社会学級はPTAと連携し、学区民の要望にもとづいてそれぞれ内容ゆたかな講座を行っています。

青年学級は同学心に燃える動労青年の要求にこたえて講座等を開いています。

（二）団体の育成

各小中学校を中心に結成されているPTA三七、地域及び同志的婦人団体一一三、その他青少年団体などの教団体が結成されています、その他父化団体の活動を助長し、視聴覚教育の推進、レクリエーションの普及等総合企画のもとで市の社会教育がすすめられています。

（三）体育、レクリエーション

体育団体は一四、レクリエーション団体は五つあって、随時の活動の外に春夏秋冬の季節的な市民体育大会、体育祭その他技術向上のための講習会等市体育会、体育委員と協力し活躍しております。

（四）文化活動

文化団体は現在五六（二九・一現在）、社会教育関係団体一連の団体として同好者のグループ活動は活発に行われています。

なお十一月一日から市に合併された九ヵ村の地域においても、以上のような組織活動が行われています。

長岡市立小中学校一覧

（二九・一一・一現在）

校名	学校	学校	学校	教員
	小	児童数	学級数	
神田町		340	18	22
表町		842	18	23
大島		449	12	15
川崎		1076	20	29
阪上		1093	22	28
新之栄		105	5	6
千町		1633	31	42
四手丸		1213	23	28
中郎島		1277	24	29
中沢		901	20	25
西島		187	6	7
栖貝		121	6	9
新吉		226	6	7
千保		238	6	7
四島		151	6	6
郎西		456	12	16
栖内		518	12	17
新組		820	18	25
富坂		292	7	10
上川		183	6	9
宮川		287	7	9
上沢		302	7	9
石津		516	13	15
前越		145	6	7
深川		224	6	7
才戸		220	6	7
日川		160	6	7
王蓑		423	11	14
福条		86	4	5
芹組	第一	166	6	7
川	第二	192	6	9
黒	第三	366	8	11
新瀬		274	7	9
組桂		123	6	8
〃吉		223	6	8
〃町		147	6	9
浦日		246	6	7
乙谷		224	6	8
十市		16895	401	517
高沢				
六日				
山谷				
38校				

校名	中学	中学	中学	教員
	中	生徒数	学級数	
東		1735	33	47
南		1486	29	46
北		1097	21	32
栖吉		269	6	11
栖西		260	6	10
上内		894	16	26
宮北		344	7	11
東才		283	6	11
深越		273	6	13
日戸		111	6	5
福西		191	6	10
下条		181	6	10
黒組		265	6	10
新本		359	6	15
山町		206	6	10
十日		306	6	10
六市		8328	172	277
16校				

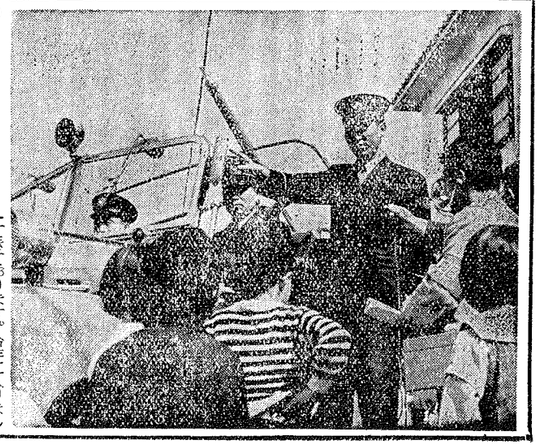
全国注視のまと

充実する教育放送

長岡教育放送局開局以来すでに一年半、その間（九月末まで）公放送日数三五七日公放送時間三七八時間電波を送りました。

放送局の視察者は、西は四国、北は青森までほとんど全国にわたっていることは、いかに全国の注視をあびているかがわかります。

その番組も市内の名士をはじめ各方面の協力により内容が豊富であり、特に市内の童話研究会、放送劇研究会等の出演により、番組に興味とうるおいを与えております。

学校の勉強に足なみをそろえて放送していますので勉強に興味をおこさせるとともに学習を活気づけ練磨を助長させております。これにより学習指導を能りつ化し子どもの考える力、判断力や想像力をさかんにする効果があらわれてきております。今年に入りましてから近くの町村が合併して地域が広くなりましたので、委員会と各学校、各学校間の連絡がむずかしくなりましたが、学校に対する連絡の時間をもうけ急ぐ用事は放送を通して連絡しております。

九月、十月に一般向け実験放送を行いましたが、これは貴重な電波を学校向けだけに使うのはもったいないので、社会教育として一般家庭や社会学級、青年学級等に利用していただくことを目的として行ったものであります。今後放送局の人員等が強化されればこれを定期放送とし、娯楽番組も加えて楽しくしかもためになるものにし、さらに市の広報もこれにふくめて放送することが考えられます。